



MSD44-30001/30002

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はサイドスカート（MODELLISTA）をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD44-30001-A0	プレシヤスホワイトパール(090)	クラウンクロスオーバー	
MSD44-30001-C0	ブラック(202)		
MSD44-30001-C2	ニュートラルブラック(229)		
MSD44-30002-NP	未塗装品(プライマー未処理)		

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

※ 以下の MODELLISTA 商品と同時装着する場合はサイドスカート（本商品）を後に取り付けてください。
・カラードフェンダー（MSD15-30001/2）

■ 構成部品

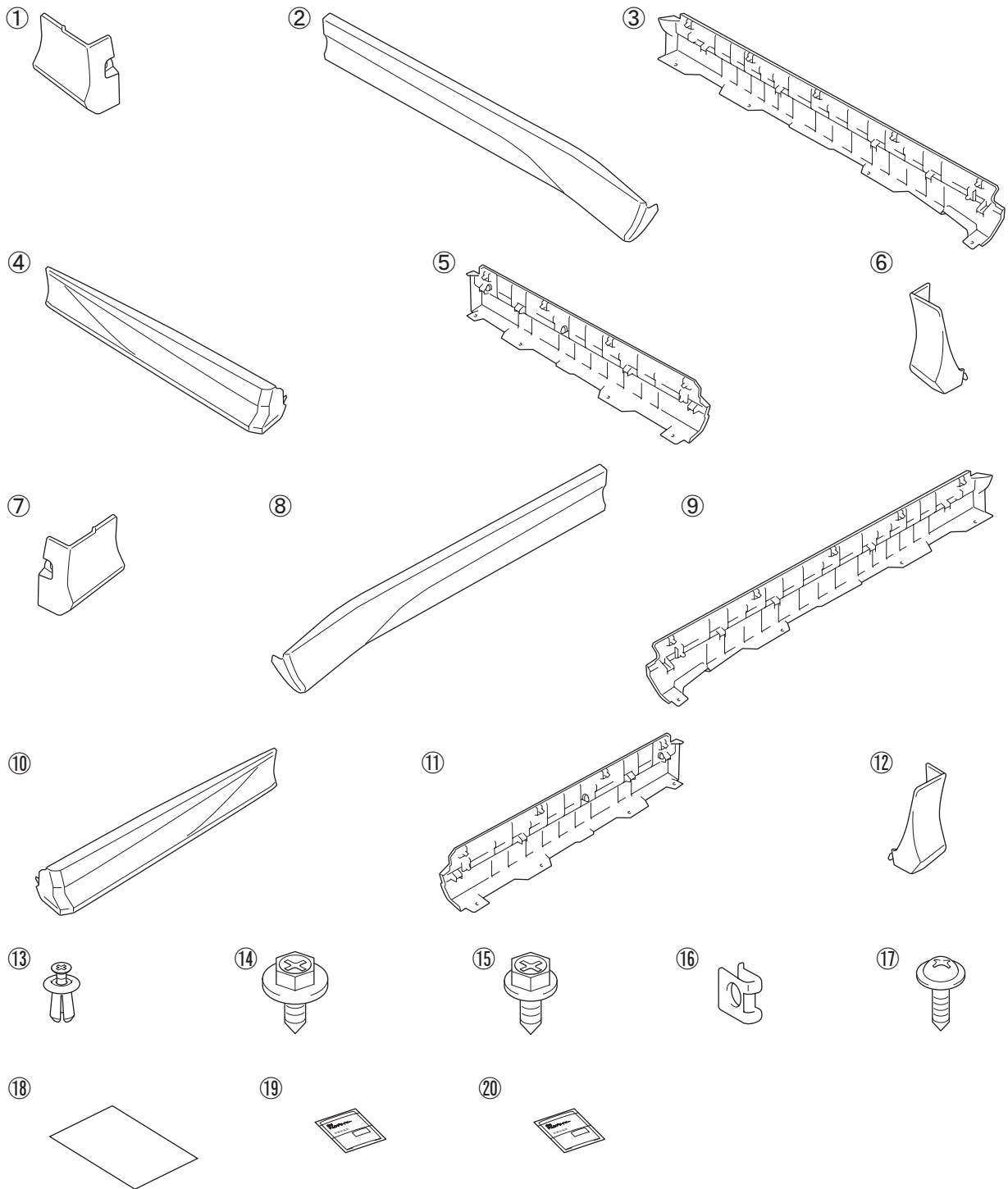
No.	部品名	品番	数量	備考
①	フロントフェンダースカートRH		1	
②	フロントドアスカートアウターRH		1	
③	フロントドアスカートインナーRH		1	
④	リヤドアスカートアウターRH		1	
⑤	リヤドアスカートインナーRH		1	
⑥	リヤフェンダースカートRH		1	
⑦	フロントフェンダースカートLH		1	
⑧	フロントドアスカートアウターLH		1	
⑨	フロントドアスカートインナーLH		1	
⑩	リヤドアスカートアウターLH		1	
⑪	リヤドアスカートインナーLH		1	
⑫	リヤフェンダースカートLH		1	
⑬	樹脂クリップ		18	
⑭	スクリューA		2	D6 × 23mm
⑮	スクリューB		4	D6 × 20mm
⑯	スプリングナット		2	
⑰	スクリューC		2	D5 × 14mm
⑱	型紙		1	
⑲	PACプライマー K-500	08867-00230	1	青袋
⑳	PACプライマー N210NT	08867-00250	1	赤袋

以下、MSD44-30002-NP(未塗装品セット)のみに同梱

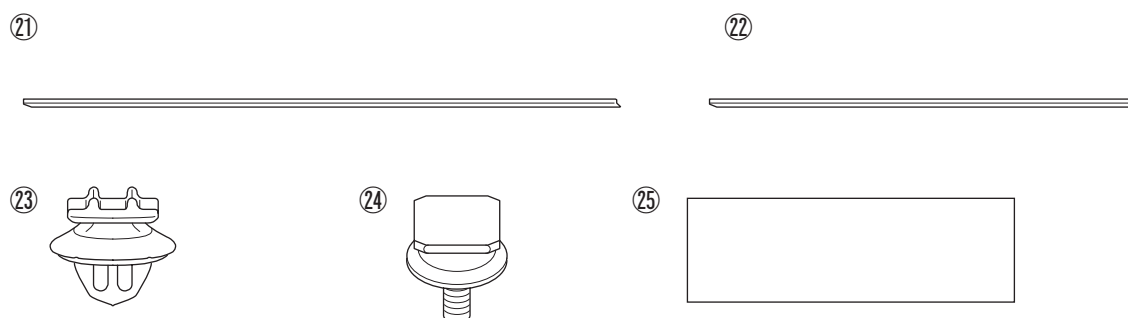
No.	部品名	品番	数量	備考
㉑	エンドモール		2	黒 L=1047
㉒	エンドモール		2	黒 L=735
㉓	クリップ		30	
㉔	Tボルト		4	
㉕	フェルト		18	

※ 開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD44-30002-NP(未塗装品セット)のみに同梱



■取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この警告に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

Ⓢ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- Ⓢ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- Ⓢ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- Ⓢ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- Ⓢ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- Ⓢ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- Ⓢ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- Ⓢ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- Ⓢ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けは出来ません。
- Ⓢ 本商品の両面テープは、環境温度が15℃未満の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- Ⓢ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが掛からないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- Ⓢ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- Ⓢ 作業にバッテリーのマイナス端子をはずした場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- Ⓢ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

目次

品番・適合車種	1
構成部品	2
構成部品図	3
取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	4
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、	
取り付け構成図	5
取り付け要領	6～19
取り付け完了後の点検・注意事項	19
未塗装品の取り扱いについて	19～23
補修キット両面テープ貼り位置	24

取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・電動ドリル(φ3、φ5.5)・ケガキ針・保護シート・養生テープ・マスキングテープ
- ・ガムテープ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス・ヤスリ・スケール

保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

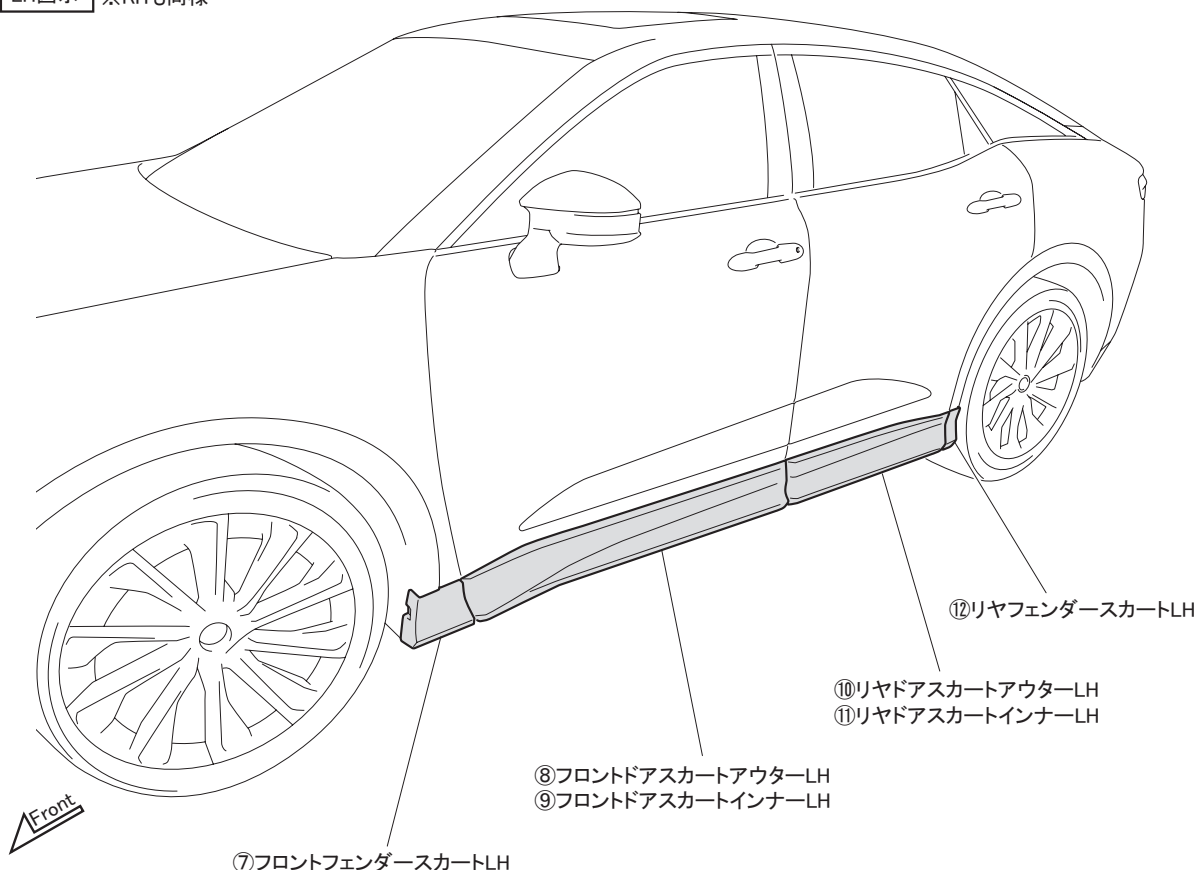
(1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

取り付け構成図

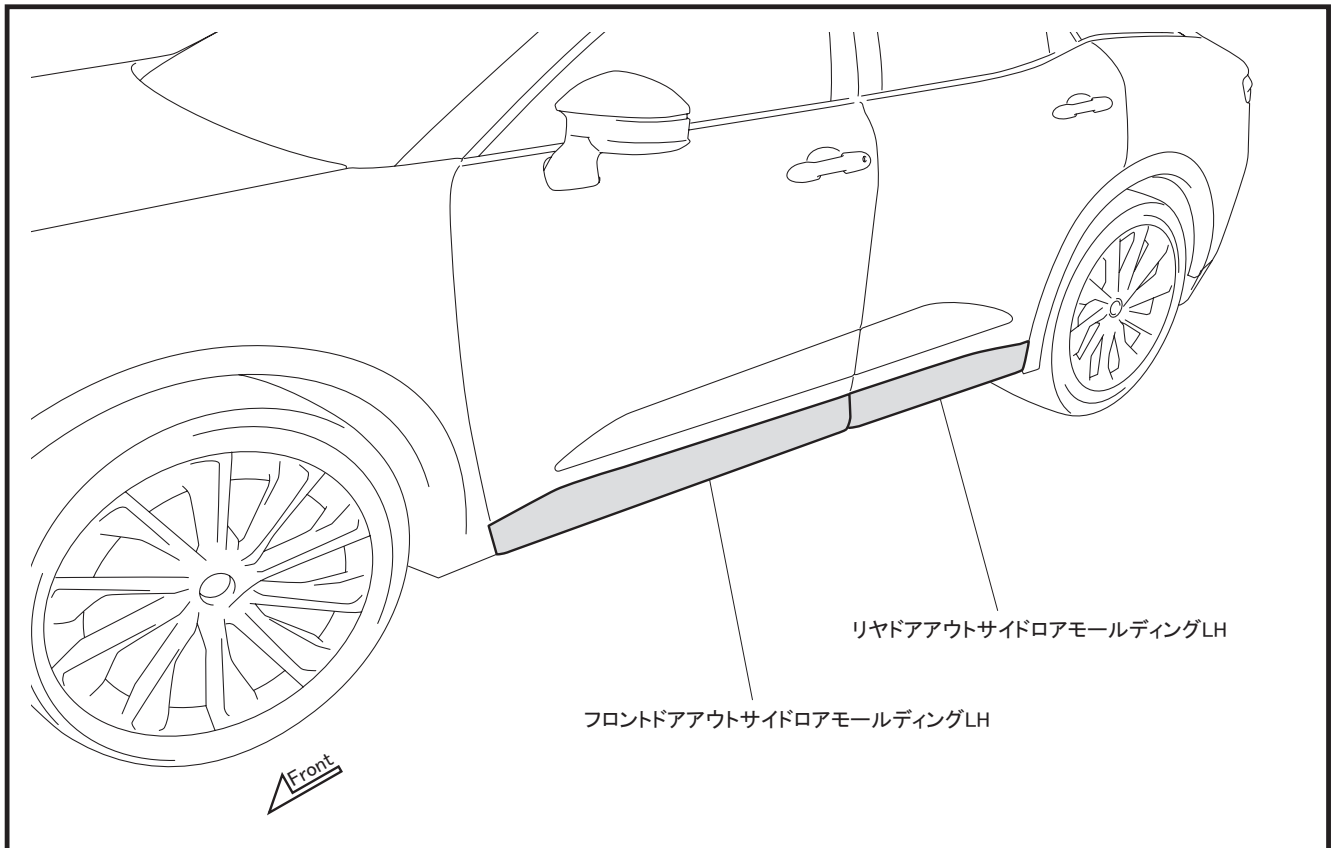
LH図示 ※RHも同様



■ 取り付け要領

※以下の手順はLH側を図示しています。特記事項を除きRH側も同様に行ってください。

・ 部品の取りはずし

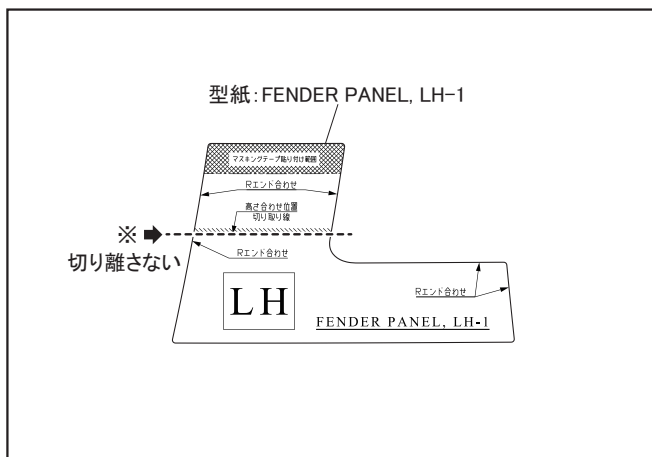


TG-BL-002

1. フロントドアアウトサイドロアモールディング LH を取りはずす。
2. リヤドアアウトサイドロアモールディング LH を取りはずす。

👉 アドバイス

- ・ 取りはずしの詳細は、トヨタ自動車(株)発行の修理書を参照してください。
- ・ 取りはずした車両ナット、グロメット等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。
- ・ 車両部品傷付き防止の為、以降の作業は必ず保護シートの上で行ってください。



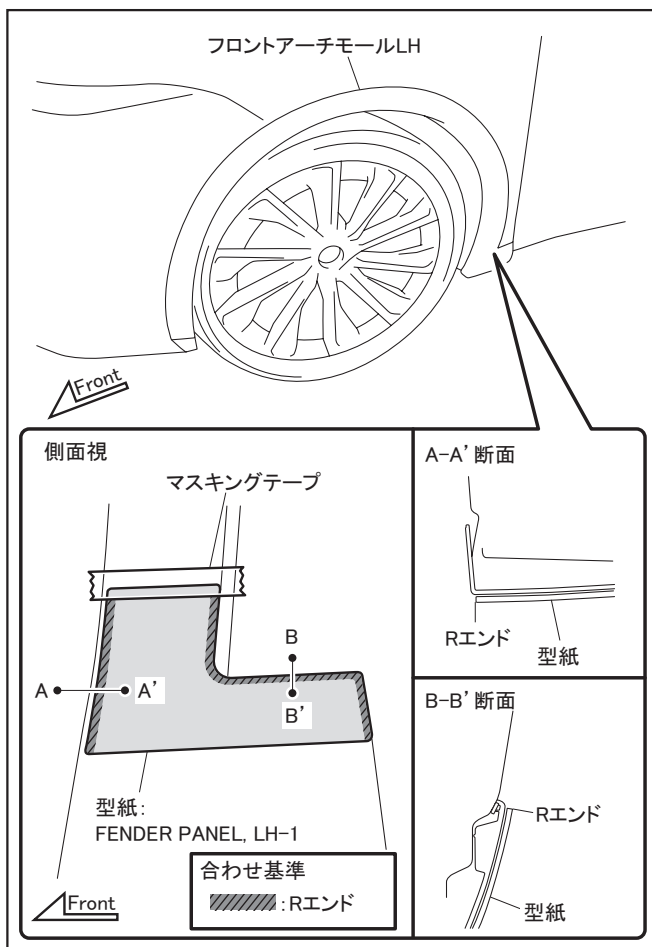
TG-BL-A01

フロントフェンダースカート位置決め用型紙の貼り付け

1. 台紙から型紙: FENDER PANEL, LH-1 をはずす。

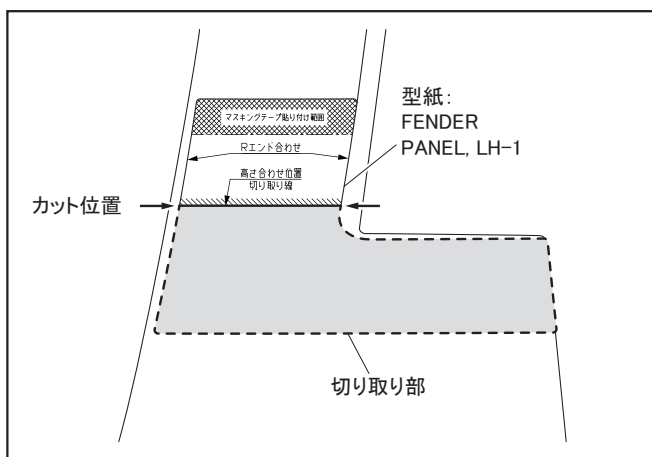
⚠ 注意

図中※で示すミシン目は、後の作業で切り離します。まだ切り離さないでください。



TG-BL-A02

2. 型紙: FENDER PANEL, LH-1 をフロントアーチモール LH にマス킹テープで貼り付ける。



TG-BL-A03

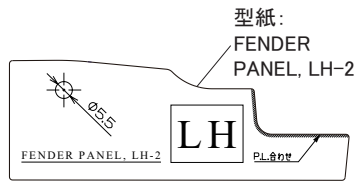
3. 型紙: FENDER PANEL, LH-1 の図中アミ掛け部を切り離す。

⚠ 注意

残した型紙は、フロントフェンダースカートの位置決めに使用します。位置がずれないように注意して切り離してください。

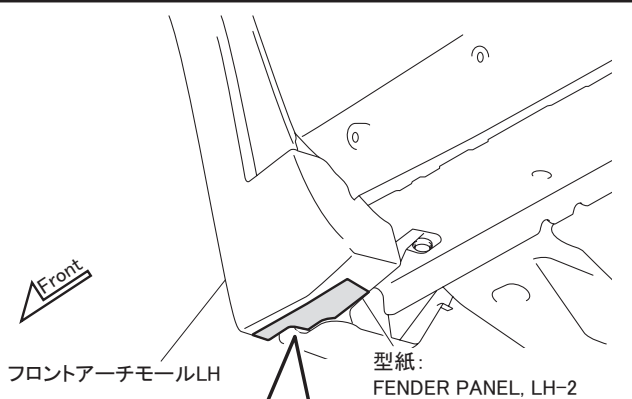
フロントアーチモールの穴開け加工

1. 台紙から型紙：FENDER PANEL, LH-2 をはずす。



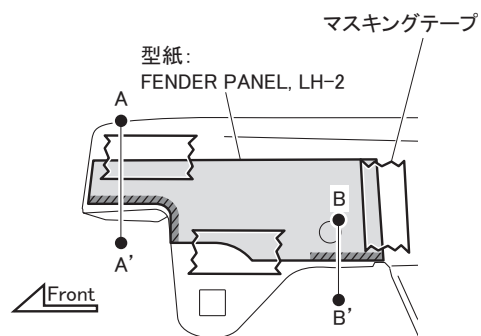
TG-BL-A04d

2. 型紙：FENDER PANEL, LH-2 をフロントアーチモール LH にマスキングテープで貼り付ける。



<未塗装アーチモールの場合>

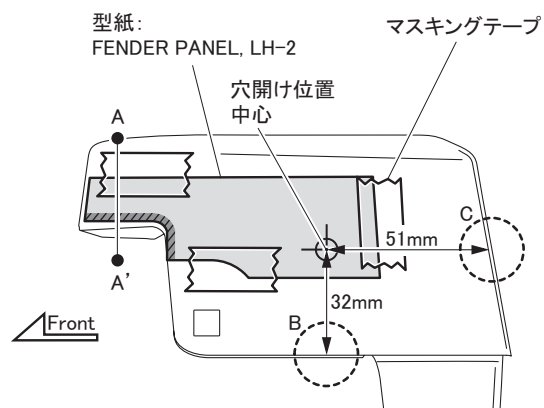
下面視



合わせ基準
 // : P.L.

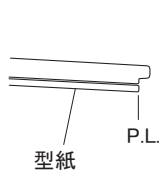
<塗装アーチモールの場合>

下面視

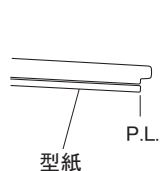


合わせ基準
 // : P.L.

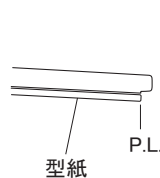
A-A' 断面



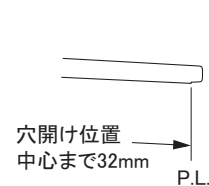
B-B' 断面



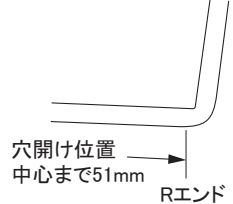
A-A' 断面



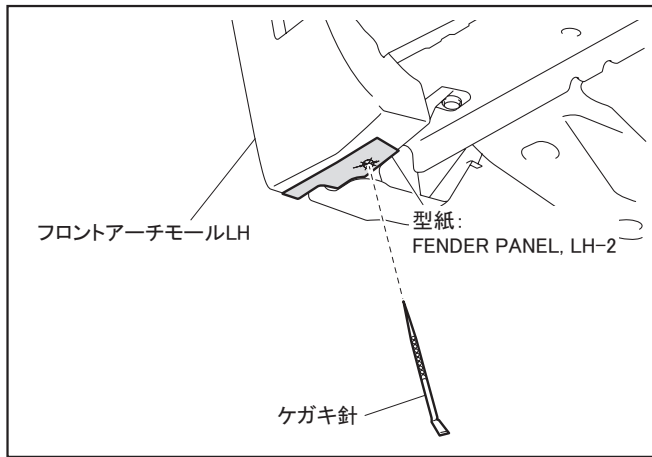
B部 断面



C部 断面

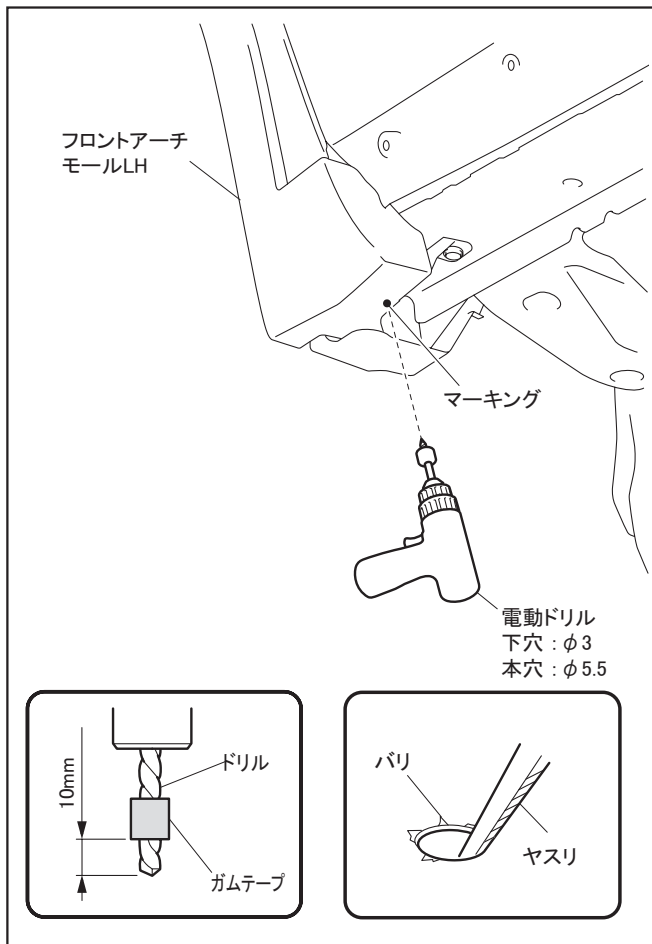


TG-BL-A05d



TG-BL-A06

3. 型紙 : FENDER PANEL, LH-2 の穴開け位置中心 (1箇所) を、ケガキ針でマーキングする。
4. 型紙 : FENDER PANEL, LH-2 を取りはずす。

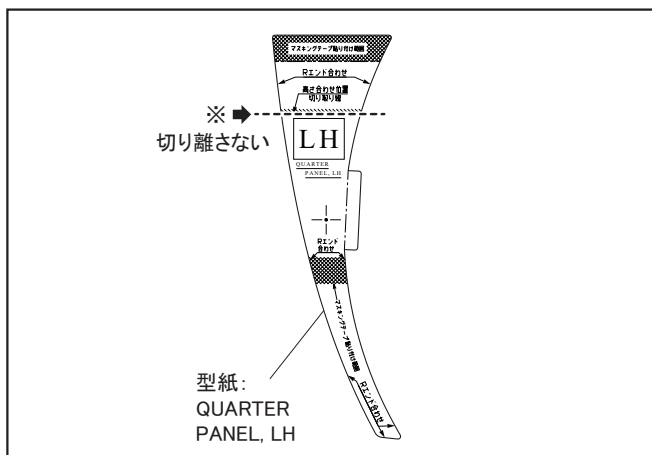


TG-BL-A07

5. ドリル (φ3、φ5.5) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
6. マーキング位置に、電動ドリルで下穴 φ3 → 本穴 φ5.5 を開ける。
7. 加工穴のバリを取り除く。

⚠ 注意

- ・ 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
- ・ 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
- ・ 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれるおそれがあるため手袋等は着用しないでください。



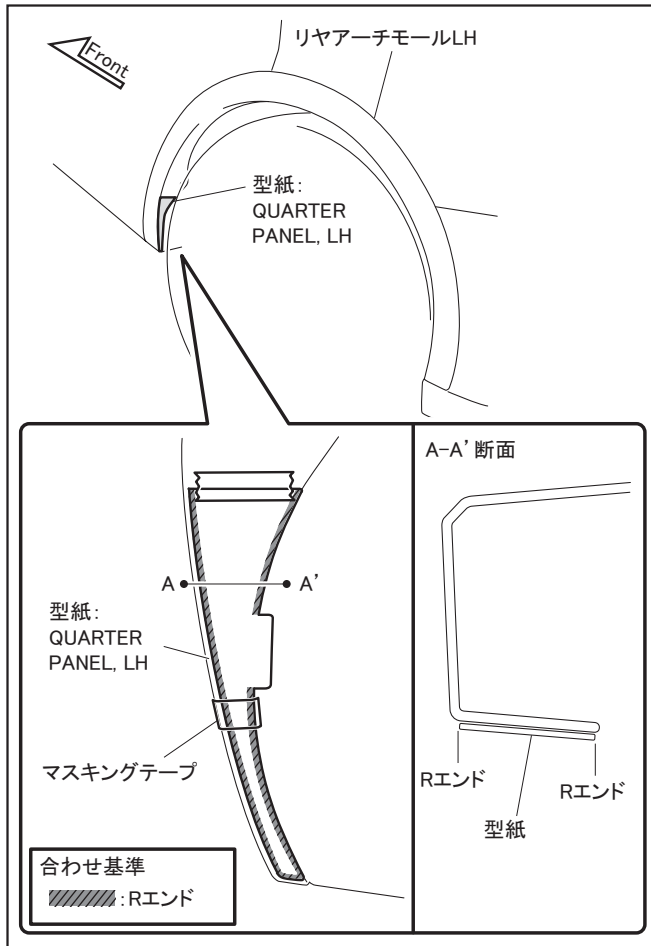
TG-BL-A08d

リヤアーチモールの穴開け加工及び
リヤフェンダースカート位置決め用型紙の貼り付け

1. 台紙から型紙 : QUARTER PANEL, LH をはずす。

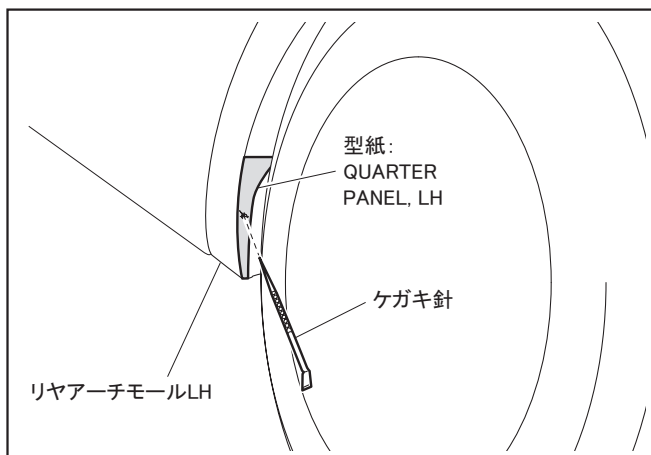
⚠ 注意

図中※で示すミシン目は、後の作業で切り離します。まだ切り離さないでください。



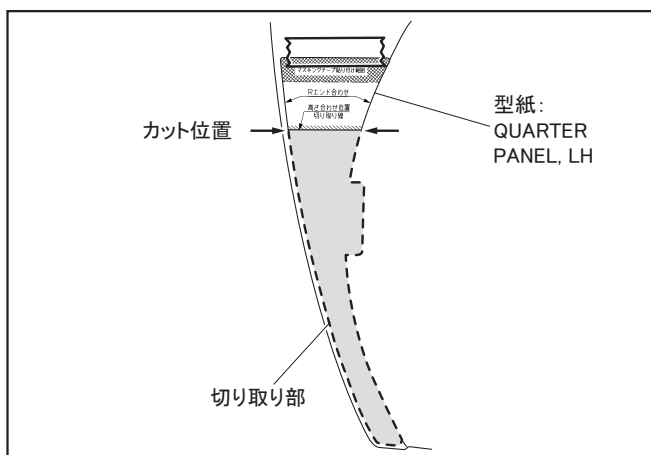
TG-BL-A09d

2. 型紙：QUARTER PANEL, LH をリヤアーチモール LH にマスキングテープで貼り付ける。



TG-BL-A10

3. 型紙：QUARTER PANEL, LH の穴開け位置中心 (1箇所) を、ケガキ針でマーキングする。

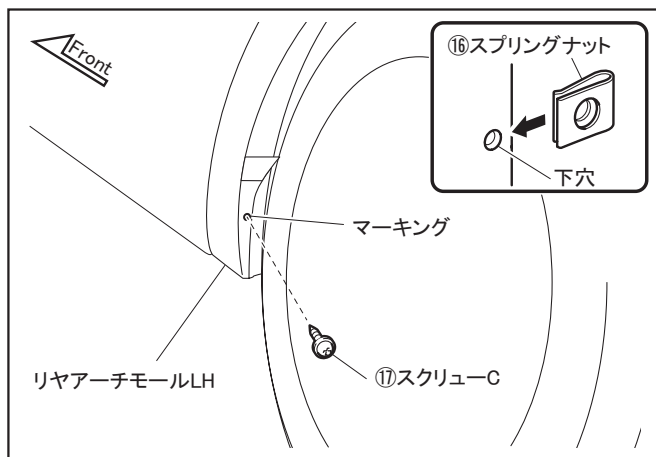


TG-BL-A11d

4. 型紙：QUARTER PANEL, LH の図中アミ掛け部を切り離す。

⚠ 注意

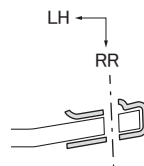
残した型紙は、リヤフェンダースカートの位置決めに使用します。位置がずれないように注意して切り離してください。



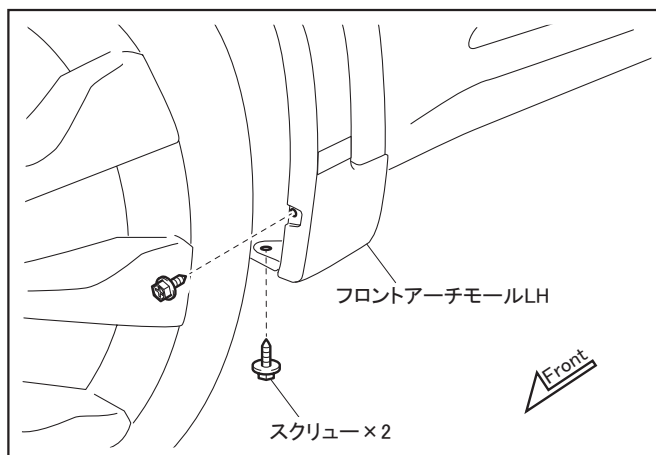
TG-BL-A13

5. リヤアーチモール LH のマーキングを⑪スクリュー C で下穴を開ける。
6. ⑩スプリングナット (1 個) を取り付けて、突き当るまで確実に押し込む。

⚠ 注意



※スプリングナットは向きに注意して取り付けてください。平らな面が外向きです。



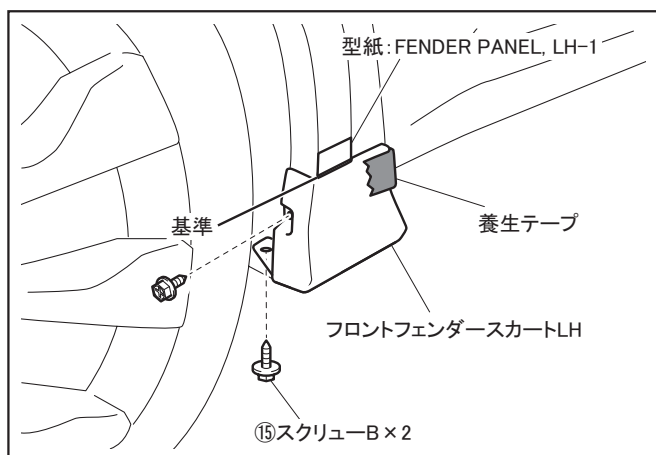
TG-BL-A21

プライマーの塗布

1. スクリュー (2 本) を取りはずす。

👉 アドバイス

取りはずしたスクリュー (2 本) は再使用しません。

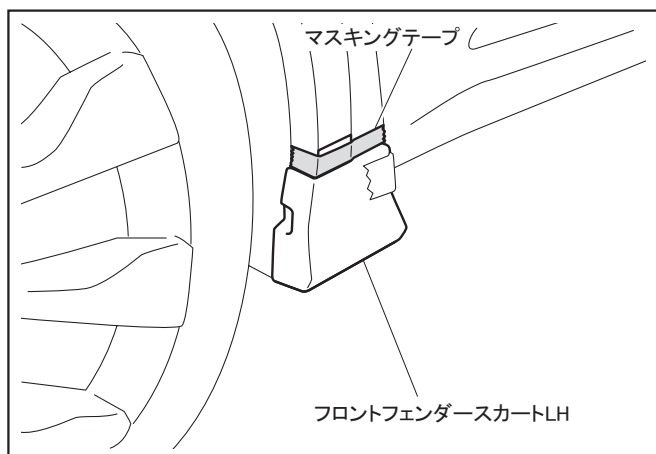


TG-BL-A19

2. フロントフェンダースカート LH を位置決めし、⑮スクリュー B (2 本) 及び養生テープで仮固定する。

⚠ 注意

型紙の位置ずれに注意してください。



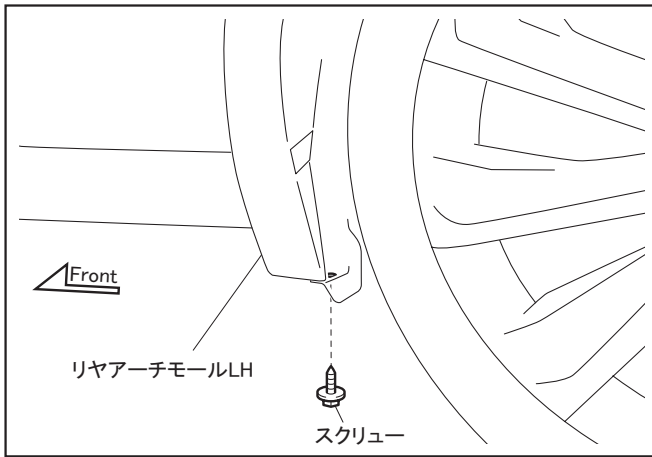
TG-BL-A20

3. フロントフェンダースカート LH 上端に沿って、マスキングテープを貼り付ける。

👉 アドバイス

この後、フロントフェンダースカートを取りはずして再取り付けする際、ここで貼り付けたマスキングテープを位置決めに使用します。マスキングテープはフロントフェンダースカート上端に沿って正確に貼り付けてください。

4. 仮固定したフロントフェンダースカート LH を取りはずす。

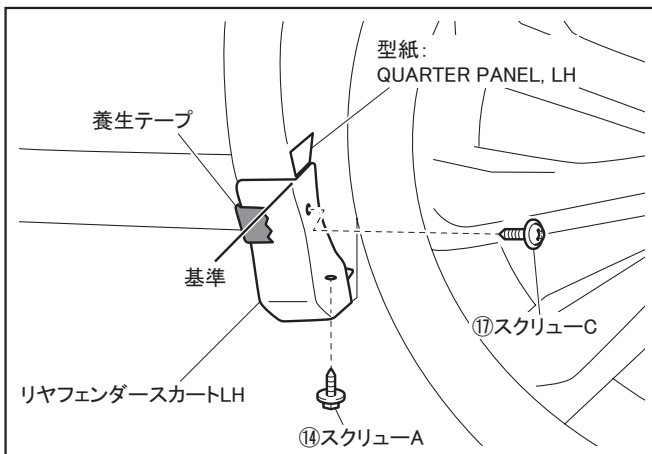


TG-BL-A22

5. スクリュー（1本）を取りはずす。

👉アドバイス

取りはずしたスクリュー（1本）は再使用しません。

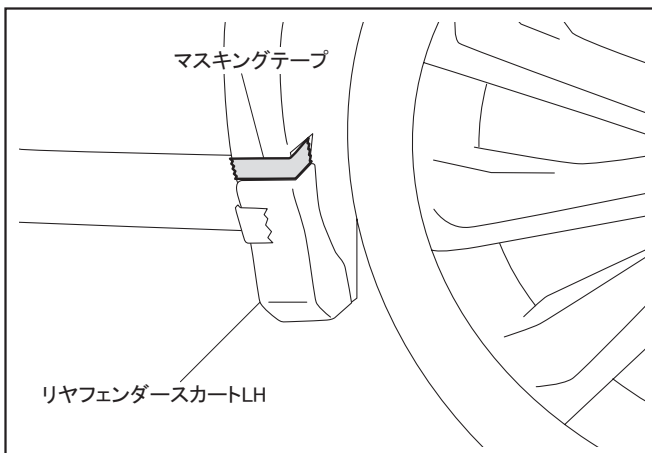


TG-BL-A16

6. リヤフェンダースカート LH を位置決めし、⑭スクリューA（1本）、⑰スクリューC（1本）及び養生テープで仮固定する。

⚠️ 注意

型紙の位置ずれに注意してください。



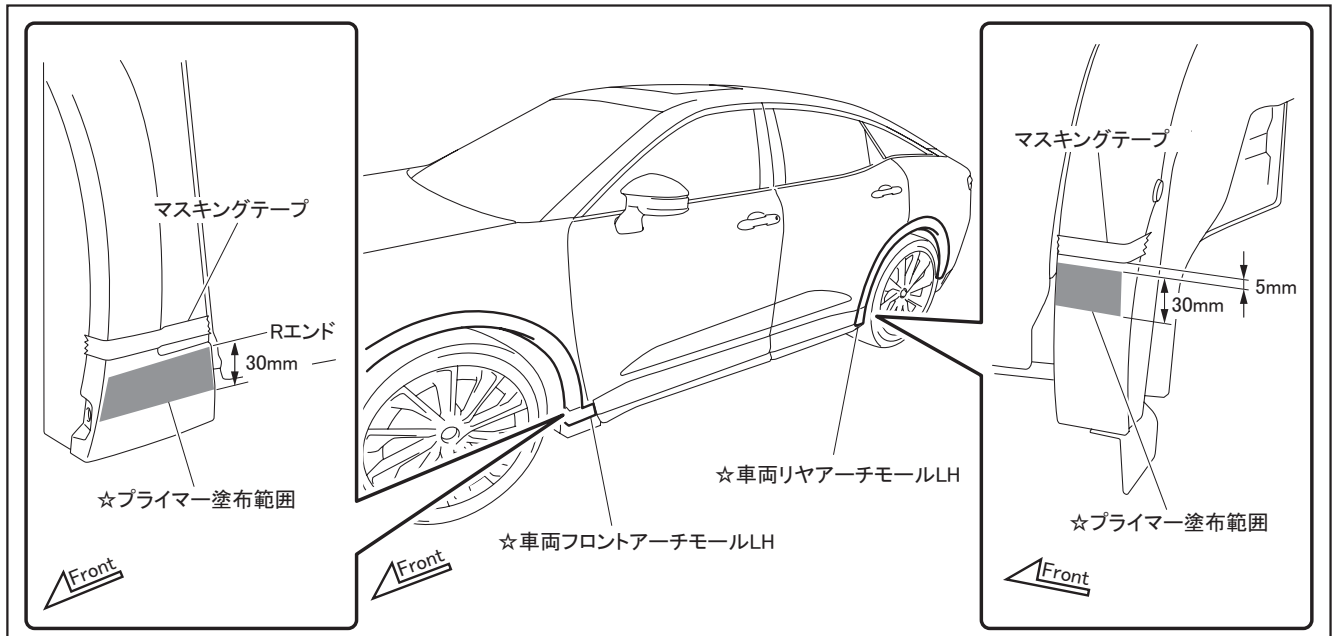
TG-BL-A17

7. リヤフェンダースカート LH 上端に沿って、マスキングテープを貼り付ける。

👉アドバイス

この後、リヤフェンダースカートを取りはずして再取り付けする際、ここで貼り付けたマスキングテープを位置決めに使用します。マスキングテープはリヤフェンダースカート上端に沿って正確に貼り付けてください。

8. 仮固定したリヤフェンダースカート LH を取りはずす。



TG-BL-A18d

9. イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、図中プライマー塗布範囲を一方向に拭いて脱脂する。

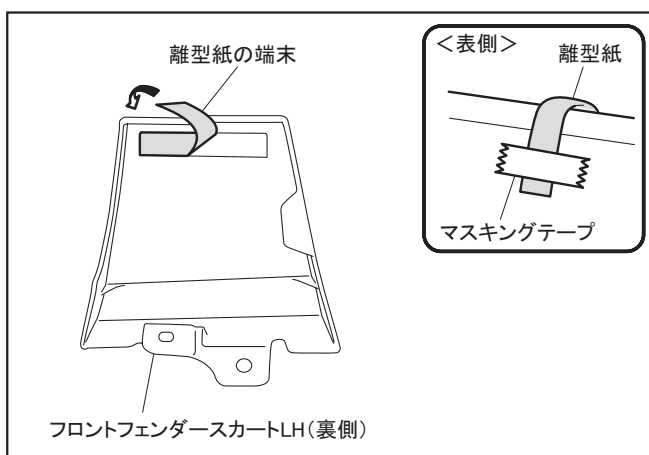
10. プライマー塗布範囲（脱脂した範囲）にプライマーを塗布する。

☆部車両フロント及びリヤアーチモールが未塗装品の場合は PAC プライマー K500 を使用してください。

☆部車両フロント及びリヤアーチモールが塗装品の場合はは PAC プライマー N210NT を使用してください。

⚠ 注意

- ・ イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- ・ プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
- ・ プライマーを塗布する際は、プライマー塗布範囲からはみ出さないように注意してください。
- ・ プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。
- ・ ☆部車両フロント及びリヤアーチモールに使用するプライマーを間違えないよう注意してください。間違えて使用すると両面テープの接着性能が低下するおそれがあります。



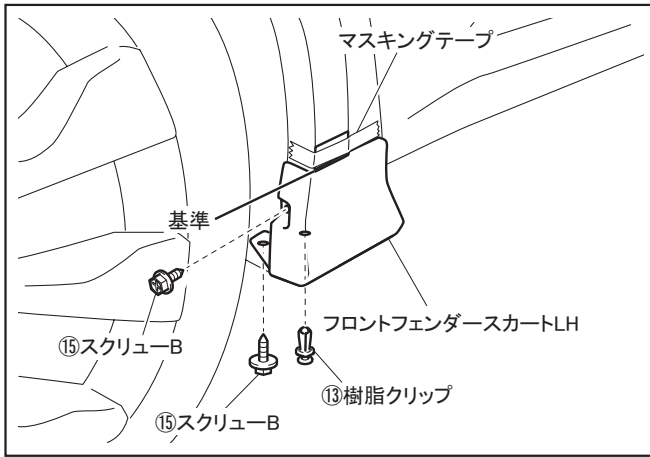
TG-BL-B01

フロントフェンダースカートの取り付け

1. フロントフェンダースカート LH 裏側の離型紙の端末（1箇所）を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。

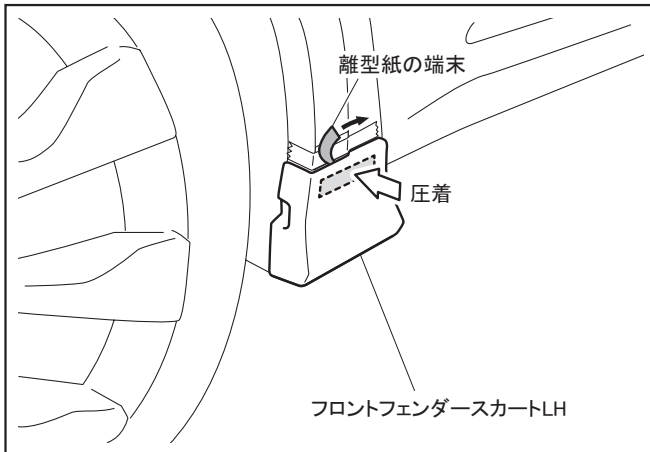
⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。



TG-BL-B02

2. フロントフェンダースカート LH を位置決めし、⑬樹脂クリップ (1 個) 及び⑮スクリュー B (2 本) で仮固定する。

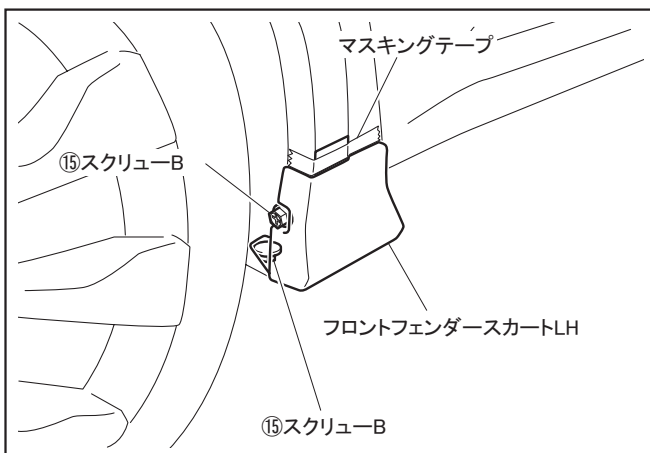


TG-BL-B03

3. 離型紙の端末 (1 箇所) を矢印方向へ徐々に引き抜きながら圧着する。

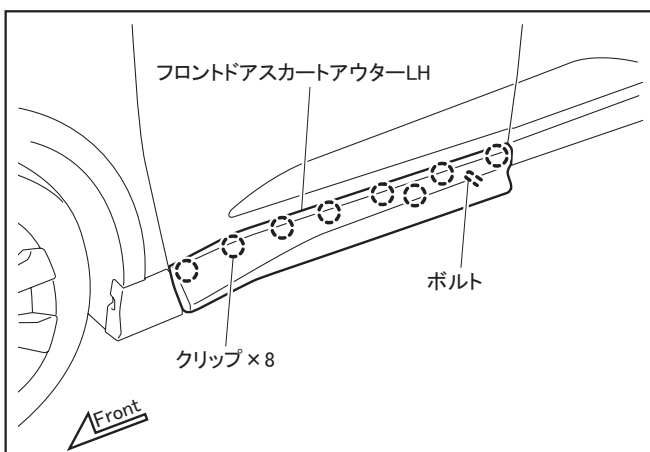
⚠ 注意

- ・ 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
- ・ より強固な接着力を促進するため、取り付け後 3 ~ 5 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落のおそれがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。



TG-BL-B04

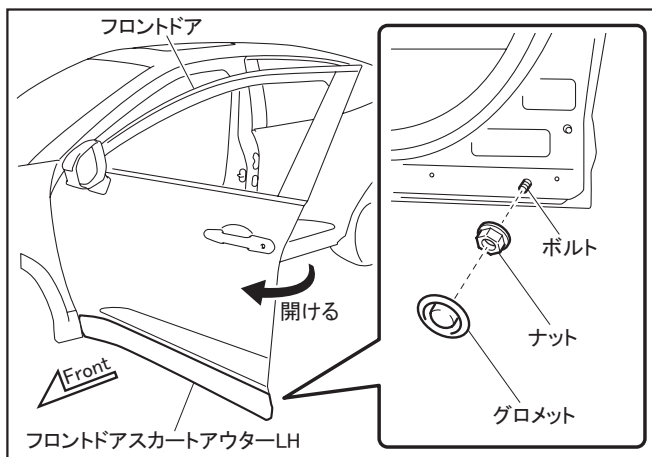
4. ⑮スクリュー B (2 本) を本締めし、フロントフェンダースカート LH を固定する。



TG-BL-B05

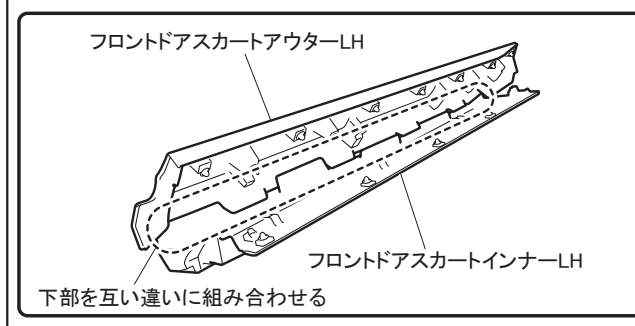
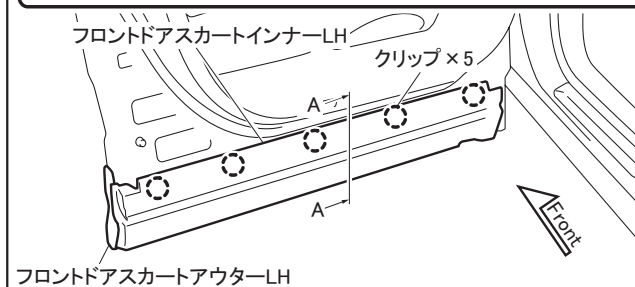
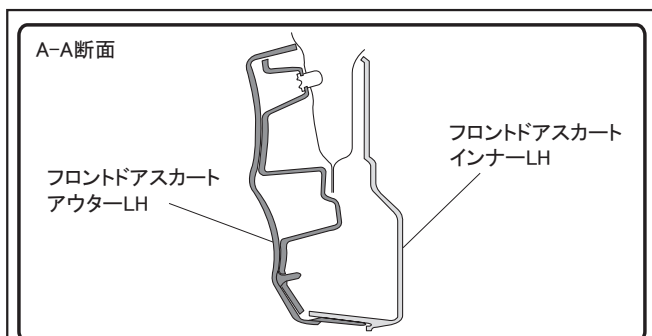
フロントドアスカートの取り付け

1. クリップ (8 箇所) を嵌合し、フロントドアスカートアウター LH を取り付ける。



TG-BL-B06

2. フロントドアを開ける。
3. 車両から取りはずしたナット（1 個）でフロントドアスカートアウター LH を固定する。
4. 車両から取りはずしたグロメットを取り付ける。

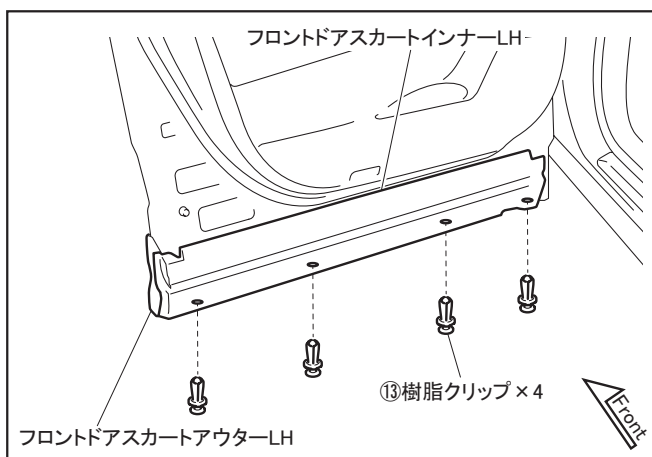


TG-BL-B07

5. クリップ（5 箇所）を嵌合し、フロントドアスカートインナー LH を取り付ける。

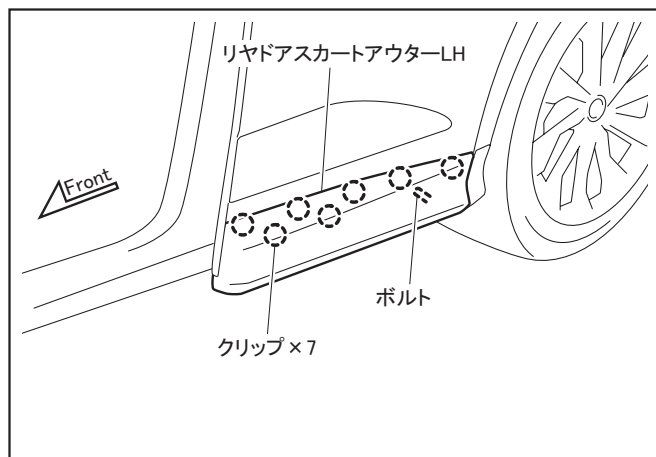
👉 アドバイス

フロントドアスカートアウターとフロントドアスカートインナーの下部を互い違いに組み合わせてください。

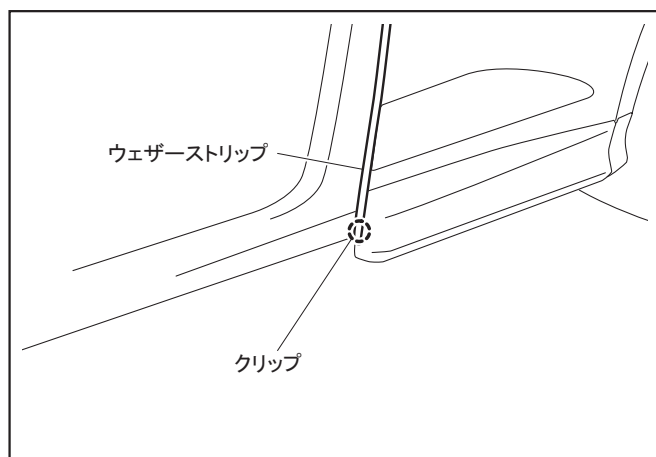


TG-BL-B08

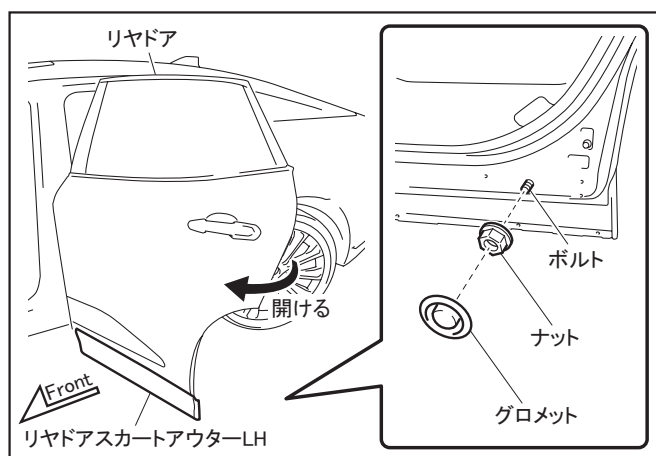
6. ⑬樹脂クリップ（4 個）でフロントドアスカート下部を固定する。



TG-BL-B09



TG-BL-B20



TG-BL-B10

リヤドアスカートの取り付け

1. クリップ (7箇所) を嵌合し、リヤドアスカートアウター LH を取り付ける。

👉アドバイス

リヤドアスカートの取り付け作業は、フロントドアを開けた状態で行います。

2. クリップ (1箇所) を嵌合し、ウェザーストリップ下端を固定する。

3. リヤドアを開ける。

4. 車両から取りはずしたナット (1個) でリヤドアスカートアウター LH を固定する。

5. 車両から取りはずしたグロメットを取り付ける。

A-A断面

リヤドアスカート
アウターLHリヤドアスカート
インナーLH

リヤドアスカートインナーLH

クリップ×4

リヤドアスカートアウターLH

リヤドアスカートアウターLH

リヤドアスカートインナーLH

下部を互い違いに組み合わせる

TG-BL-B11

リヤドアスカートインナーLH

⑬樹脂クリップ×4

リヤドアスカートアウターLH

TG-BL-B12

離型紙の端末

<表側>

離型紙

マスキングテープ

リヤフェンダースカートLH(裏側)

TG-BL-B13

6. クリップ（4箇所）を嵌合し、リヤドアスカートインナーLHを取り付ける。

アドバイス

リヤドアスカートアウターとリヤドアスカートインナーの下部を互い違いに組み合わせてください。

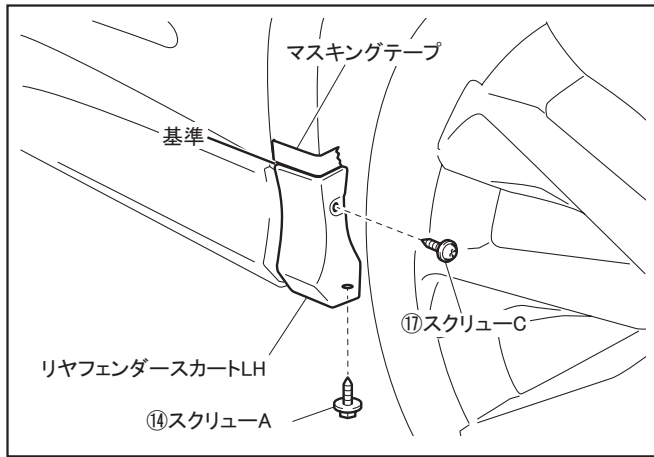
7. ⑬樹脂クリップ（4個）でリヤドアスカート下部を固定する。
8. リヤドアを閉める。

リヤフェンダースカートの取り付け

1. リヤフェンダースカート LH 裏側の離型紙の端末（1箇所）を 30mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。

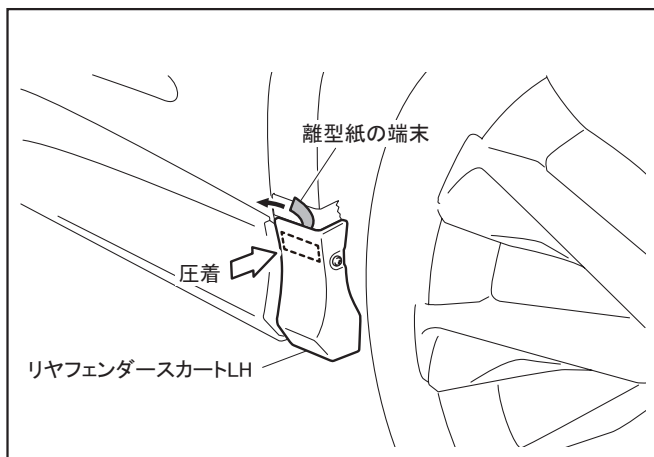
⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。



TG-BL-B14

2. リヤフェンダースカート LH を位置決めし、⑭スクリュー A (1 本) 及び⑰スクリュー C (1 本) で仮固定する。

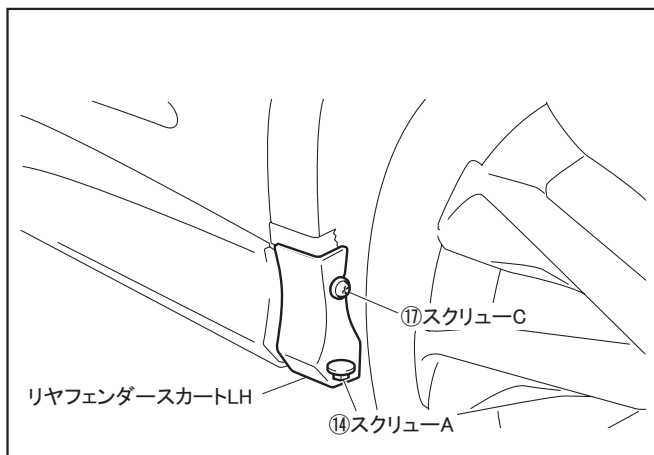


TG-BL-B21

3. 離型紙の端末 (1 箇所) を矢印方向へ徐々に引き抜きながら圧着する。

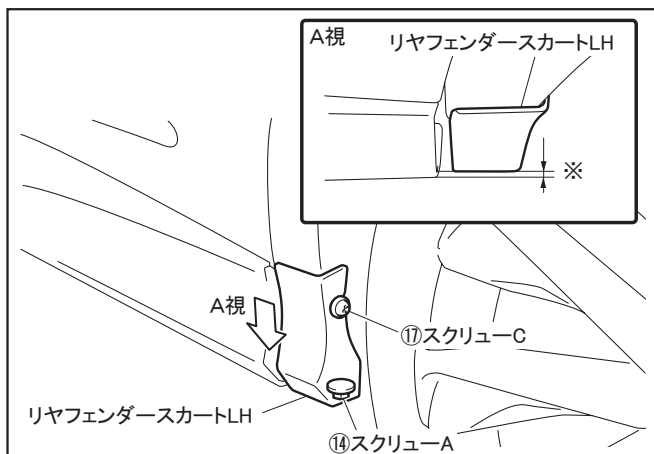
⚠ 注意

- ・ 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
- ・ より強固な接着力を促進するため、取り付け後 3 ～ 5 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落のおそれがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。



TG-BL-B22a

4. ⑭スクリュー A (1 本) 及び⑰スクリュー C (1 本) を本締めしリヤフェンダースカート LH を固定する。
5. 型紙及びマスクングテープをすべて剥がす。



TG-BL-B22

【※で示す部分の差 (面差) が著しい場合】

リヤフェンダースカート LH の固定調整により、面差の緩和が可能です。

6. リヤフェンダースカート LH のスクリューを一旦緩める。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

🔧 アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。

製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

⚠ 警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落など重大な不具合が発生する可能性があります。

両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。

接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD44-30002-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。

下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

・ サイドスカートの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープ、エンドモール、及びフェルト貼り付け部（以降記載の「・各種組み付け作業」を参照）をマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。（本製品の素材は＞PP＜です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

⚠ 注意

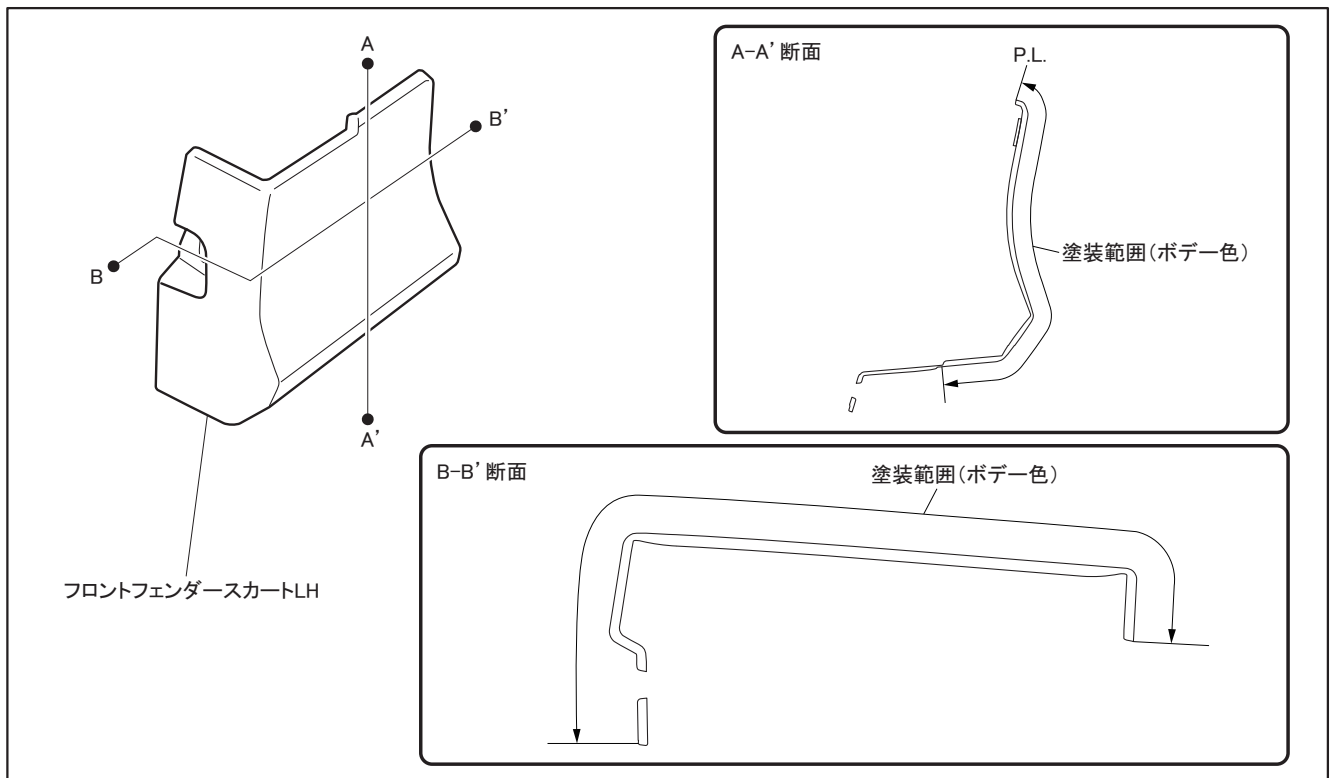
乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分に注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

・塗装範囲

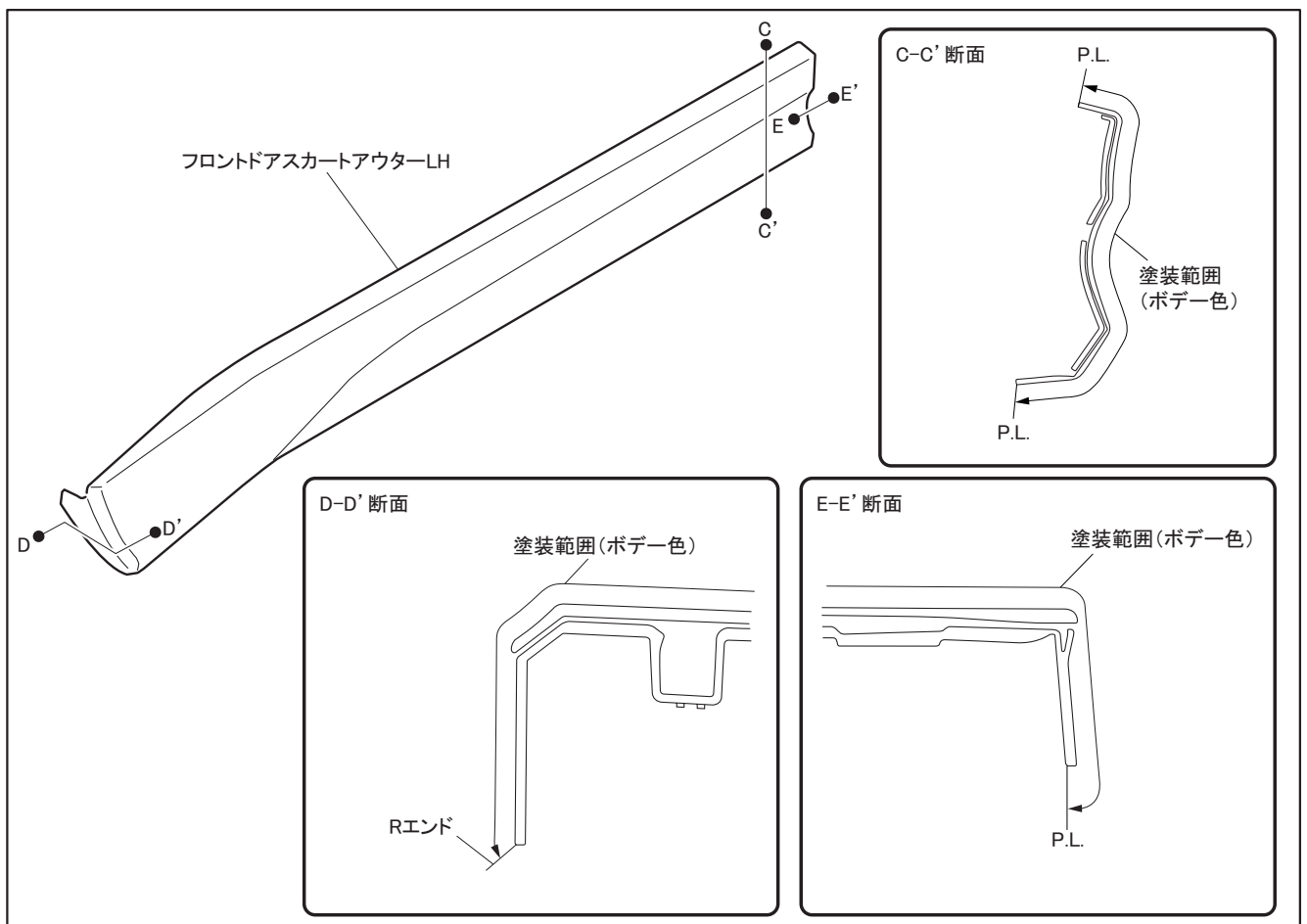
1. 塗装範囲を車体色で塗装する。

👉アドバイス

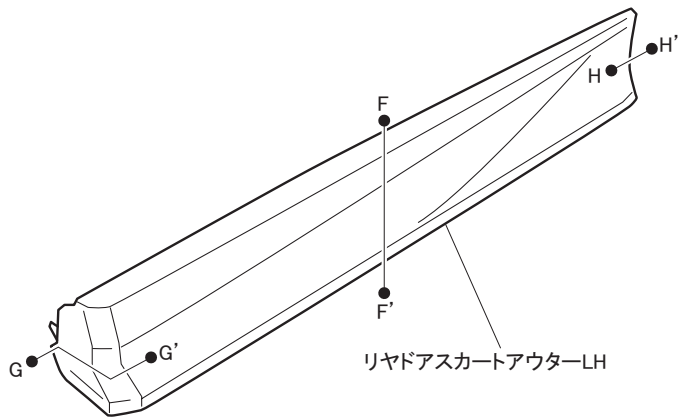
モール貼り付け面は漏れがない様にマスキングしてください。



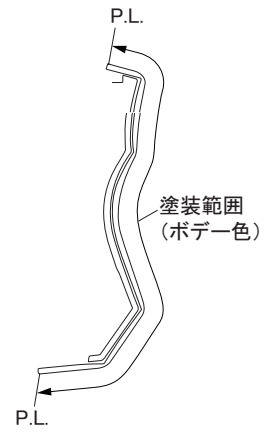
TG-BL-F01



TG-BL-F02b

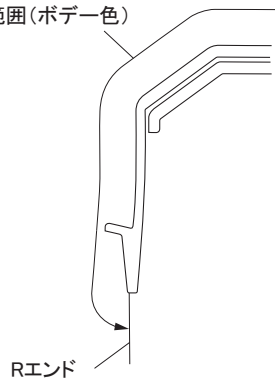


F-F' 断面



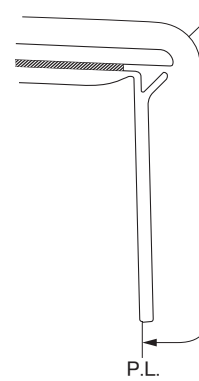
G-G' 断面

塗装範囲 (ボデー色)

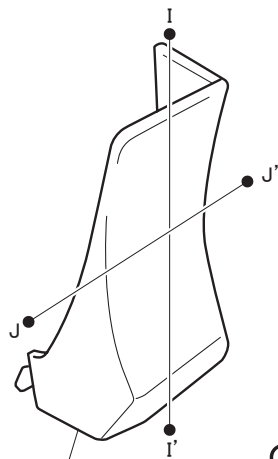


H-H' 断面

塗装範囲 (ボデー色)



TG-BL-F03b



I-I' 断面

塗装範囲 (ボデー色)

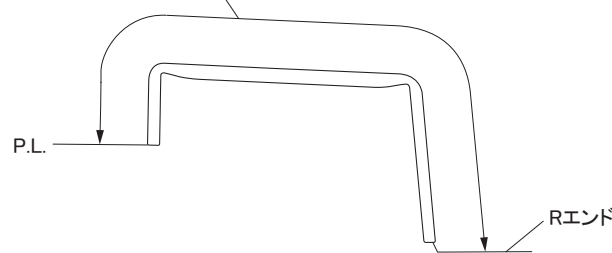


J-J' 断面

塗装範囲 (ボデー色)

P.L.

Rエンド



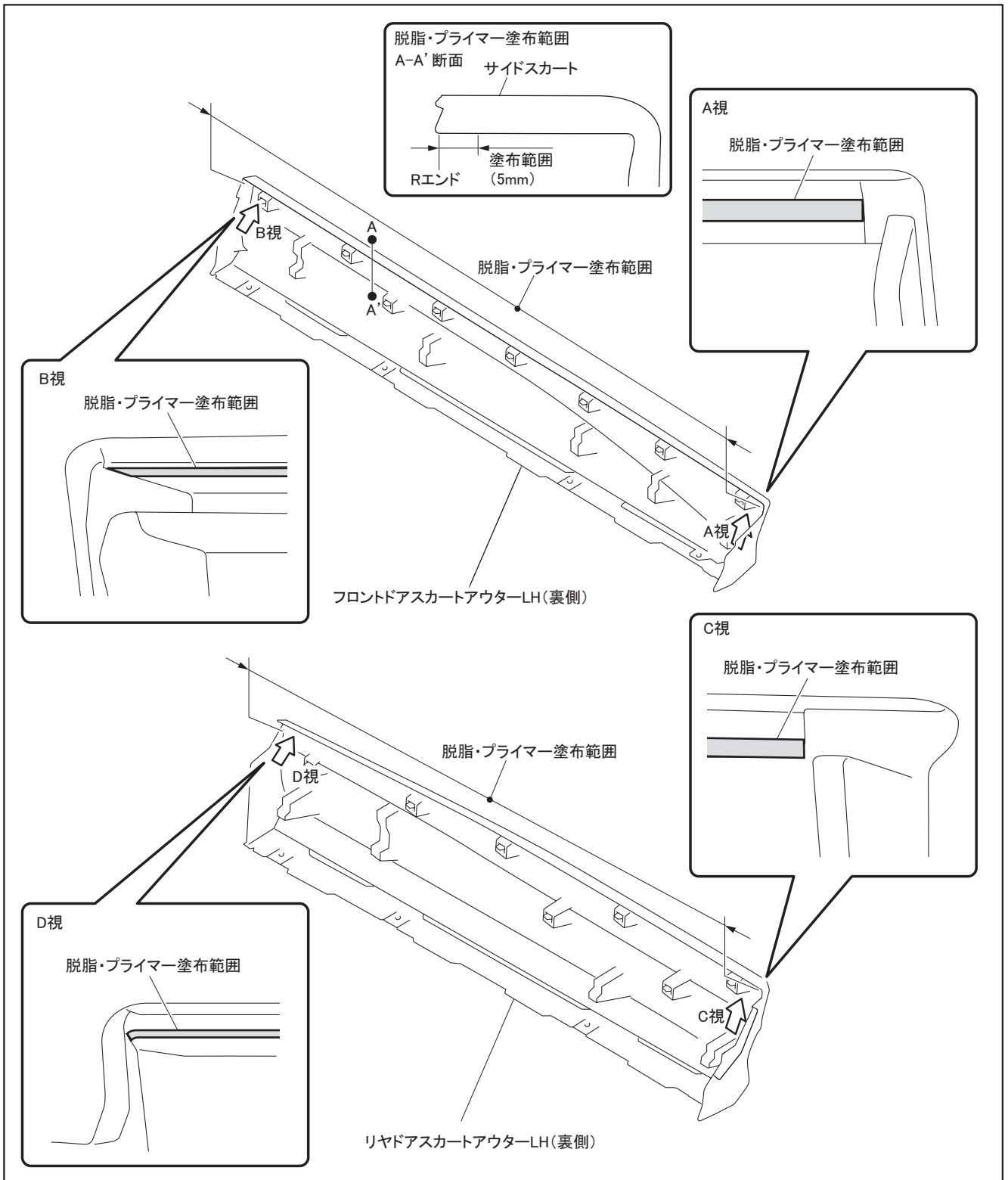
TG-BL-F04

・プライマーの塗布

1. サイドスカートのエンドモール貼り付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

👉アドバイス

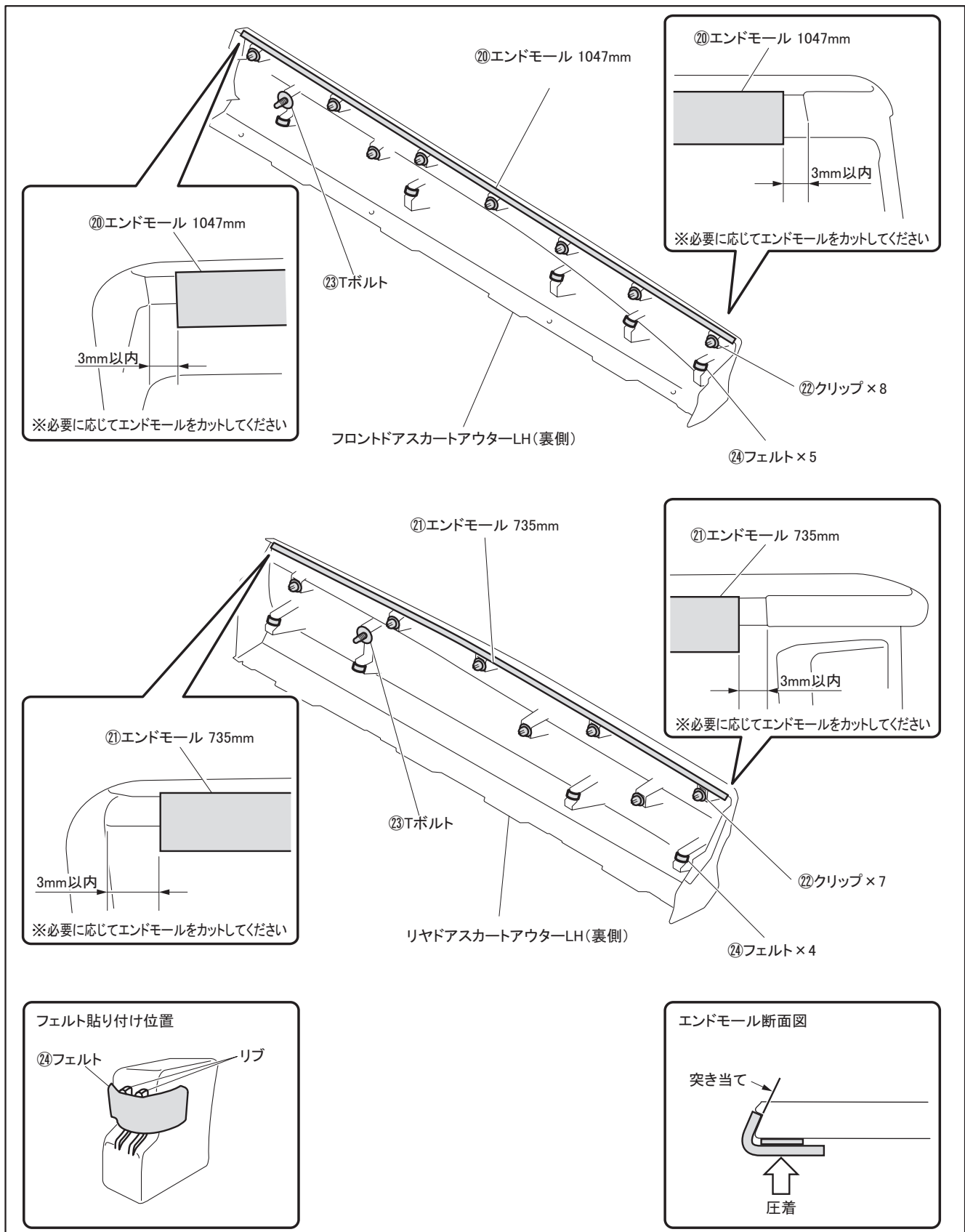
- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PAC プライマー K-500 はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。



TG-BL-F05

・各種組み付け作業

1. 下図の要領でエンドモールを貼り付ける。
2. クリップを取り付ける。
3. Tボルトを取り付ける。
4. フェルトの貼り付け部分を脱脂する。
5. フェルトをリブの上に貼り付ける。



TG-BL-F06d

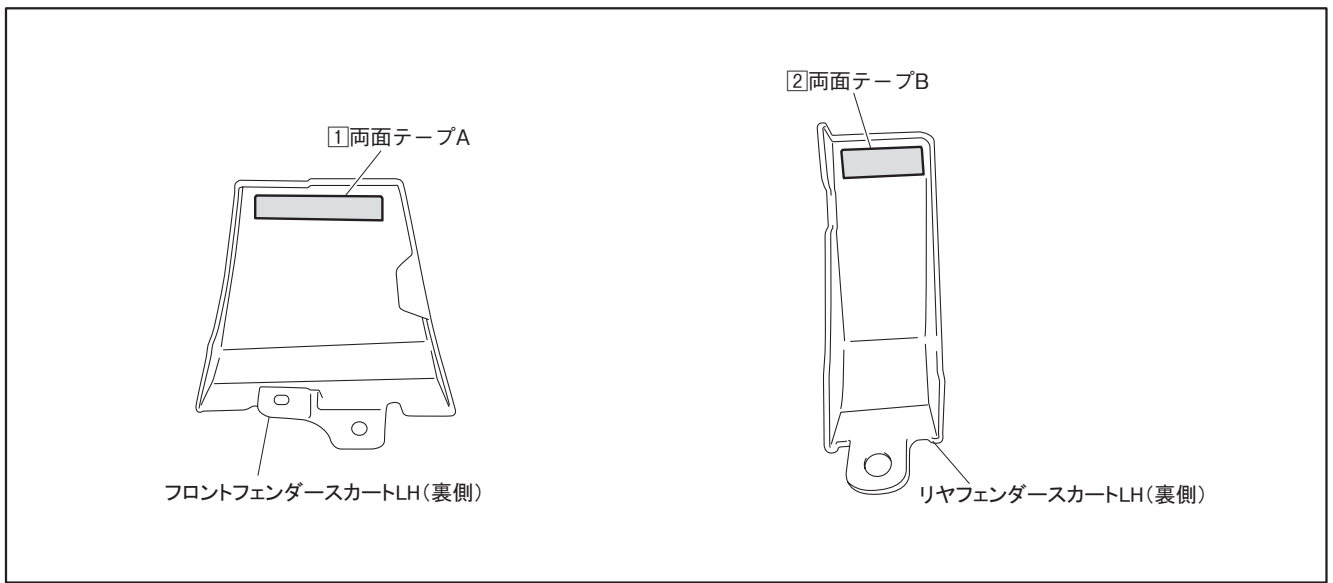
■ 補修キット両面テープ貼り位置

1. サイドスカートの両面テープ貼り付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

👉アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PAC プライマー K-500 はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 下図を参照に両面テープを選択し貼り付ける。



TG-BL-F08

株式会社 トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

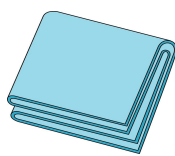


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



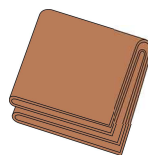
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



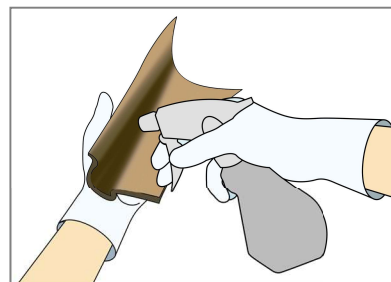
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

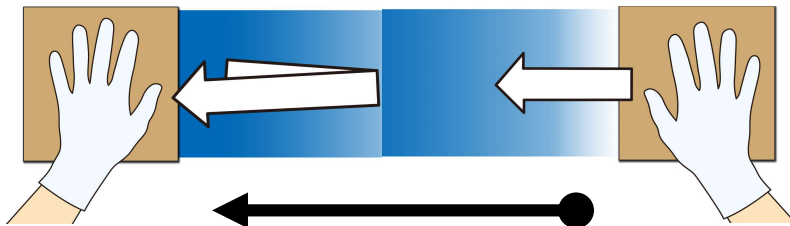
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 c m 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

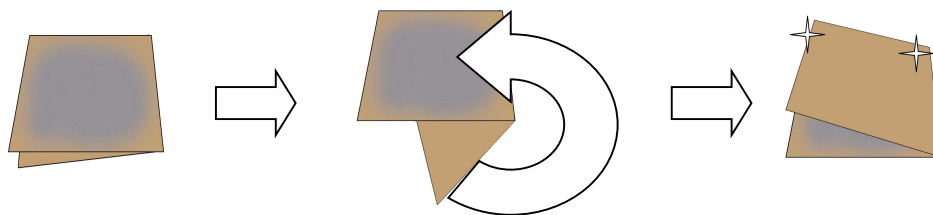
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。